

Kyoto Fine Arts Brass

関西・東海・関東・中国地方在住の金管楽器愛好者が集まり、1994年2月に結成。現在団員24名。

1994年7月に第1回演奏会を京都市で開催して以来、ブラス・アンサンブルの素晴らしさをより多くの人に紹介し、楽しんでいただくために演奏会活動を精力的に行うとともに、様々なイベントへの参加、オーケストラや吹奏楽団との共演など幅広い活動を、京都のみならず滋賀、愛知、三重、富山、長野等各地で行っている。

“ファインアーツ”の名前に示すように、音楽的に完成度の高い演奏をめざすとともに、メンバーそれぞれが音楽を感じ、個性をぶつけ合いながら、他に類を見ない独自の活動を展開している。

これまでルネサンス期から現代まで幅広い作品を取り上げ、編成もTp4・Hr・Tb4・Tubaの10重奏のスタイルを中心としつつも、3重奏のような小編成から全員合奏の大編成まで、また、Tb、Hrなど同族楽器によるアンサンブルや団員のソロをフィーチャーするなど、柔軟に組み替えている。

今までにラングフォード、クツィール、パーカー、エヴァルト、アーノルド、トマジ、リチャーズ、R.シュトラウス、ドッジソン等のオリジナル作品やラヴェル、ウォルトン等の編曲作品などを取り上げており、中でもオランダ出身のクツィールの作品には精力的に取り組んでいる。

また、ヤナーチェク:シンフォニエッタを大津管弦楽団と、レスピーギ:ローマの松、シヨスタコーヴィチ:森の歌を八幡市民オーケストラと共演。各団員はそれぞれ関西、東海地区のオーケストラ、吹奏楽団等で活動を行っており、活動範囲は非常に多岐にわたっている。

今回取り上げるガブリエリは、セミナリヨにゆかりのあるローマ少年使節団が訪れたヴェネツィアのサンマルコ大聖堂のオルガン奏者でした。異国の地で彼らの心に響いた音楽はどのようなものだったのでしょうか。他にもバロックから現代に至るブラスとオルガンの作品を集めました。時代や作曲家によるそれぞれの響きをお楽しみください。

パイプオルガンと金管楽器はどちらも管を使っているため相性がよく、ともにとても響き合います。

文芸セミナリヨの素晴らしいパイプオルガンはいつもとはまた違う趣きでホールに響き渡ることと思います。

城 奈緒美 (オルガン)

神戸女学院大学音楽学部パイプオルガン専攻卒業。滋賀大学大学院経済学部修士課程修了。

オルガンを井上圭子に師事。スイス、スペイン、イギリスなど国内外の国際オルガンアカデミーにて研鑽を積む。

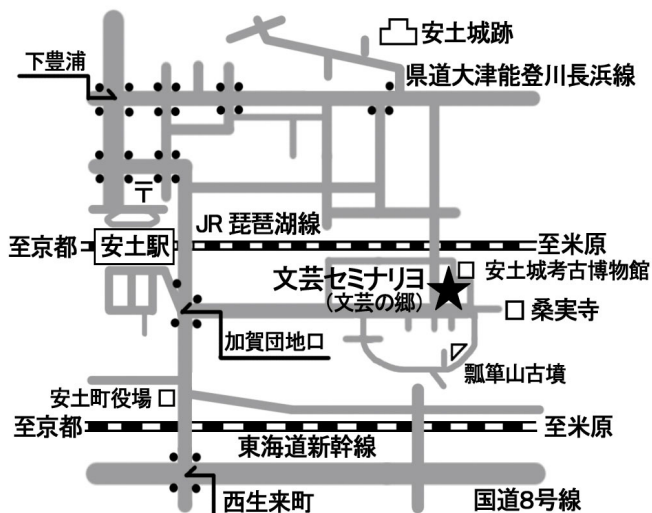
文芸セミナリヨ専属オルガニストとして、文芸セミナリヨを中心に国内のコンサートホールや教会などで演奏活動を行う。

オルガンという楽器を身近に感じていただきたいと、お話を交えたコンサートは特に好評を博す。

コンサートの企画・運営に携わる他、後進の育成にもつとめている。

日本オルガニスト協会、日本文化経済学会、各会員。

会場までのご案内：



電車でお越しの場合

JR東海道本線(琵琶湖線)『安土駅』下車
注)安土駅には新快速電車は止まりません。

送迎バス

JR 安土駅より無料シャトルバス運行
13:00・13:30・終演後

お車でお越しの場合

彦根インター(約35分)、八日市インター(約25分)、
名神竜王インター(約20分)
駐車場台数 普通車350台/大型車16台(無料)

国道8号線「西生来町」交差点より北へ、
「安土町役場」前を通過、「加賀団地口」交差点を右折。
案内看板に従って進んでいただくと、
田園の中に大きな建物群が見えてきます。
中央の茶色の建物が「文芸セミナリヨ」です。

文芸セミナリヨ(安土町文芸の郷)

滋賀県蒲生郡安土町桑実寺777番地
TEL 0748-46-6507